

能力	倫理的問題が生じていることに気づく力（倫理的感受性）		それが倫理的問題である理由を説明できる力（道徳的推論）		様々な障害を乗り越えて、倫理的に行為しようとする力（態度）、及び、状況の中で倫理的行為を遂行できる力（実践）		価値の対立などを解消し、中立的な立場で合意形成に向けて調整する力（調整）	
能力の具体的内容	「あれ、おかしいな」と感じたことをそのままにせず、周囲に伝えること		「おかしい」と思った理由を事実に沿って説明すること 倫理の基礎知識に基づき、どこが倫理的に問題であるかを指摘すること		誰のどのような権利を優先すべきか、どのような立場をとるべきか、を適切に判断し、解決の方向性を判断すること その問題の解決に向けて何をしたらよいか判断し、実際に行動すること		臨床における倫理的問題に対し、異なる職種や立場の者の視点や価値を尊重しながら、患者・家族と医療・ケアチームが共に納得できる意思決定に向け、関係者に積極的に働きかけ合意形成を図り、調整すること	
目標	【教育目標】 臨床における倫理の基礎を理解し、倫理的問題に気づく力をつける 【学習目標】 1.臨床倫理の基礎知識を理解する。 2.基礎知識を踏まえて、日々の実践の中で感じる倫理的ジレンマや問題を表現する。		【教育目標】 倫理的問題を明らかにする手法を理解し、説明できる力をつける 【学習目標】 1.倫理的問題を明確にするための基礎知識を理解する。 2.検討ツール・枠組みを用い、事例の分析、問題の明確化、対応策の検討を行う。		【教育目標】 倫理的問題に立ち向かう内面の力を養い、看護師としてなすべき行動をとれる力をつける 【学習目標】 1.自己理解の必要性を理解し、自己理解を深める。 2.リフレクションの必要性や方法を理解する。 3.倫理的問題事例のリフレクションを通して、自己を内省し、今後の自身の行動を考える。		【教育目標】 価値の対立などを解消し、中立的な立場で合意形成に向けて調整できる力をつける 【学習目標】 1.倫理的問題へのアプローチに必要なアサーション・ファシリテーションの基礎知識を理解し、スキルを習得する。 2.倫理的問題へのチームアプローチの必要性を理解し、カンファレンスにおけるファシリテーション、合意形成のスキルを習得する。 3.倫理的問題におけるコンサルテーションの基本的知識を理解する。	
	教育計画	【教育内容】 1.看護倫理 1)看護専門職と倫理 2)看護実践における倫理原則 3)看護者の倫理綱領 4)看護実践の中で遭遇する倫理的問題、倫理的ジレンマ 2.臨床倫理の基礎 1)生命・医療・臨床倫理の歴史 2)人間の尊厳とQOL 3)倫理理論 4)事実と価値 5)職業倫理・倫理綱領 6)倫理原則・倫理的姿勢 7)倫理的問題、倫理的ジレンマ 8)インフォームドコンセント 9)医療における意思決定と代理判断 10)コミュニケーションと協働的意思決定 11)チーム医療 3.法と倫理 1)法と倫理の関係 2)臨床領域での法とガイドライン 3)守秘義務と個人情報保護 4)リスクマネジメント（チームステップス） 4.各領域における倫理 小児医療、神経難病、遺伝医療、循環器疾患、救急医療、緩和ケア、エンドオブライフ、高齢者ケア等	【方法】 講義 演習 (グループワーク)	【教育内容】 1.倫理問題の検討ツール・枠組み ・看護者の倫理綱領 ・倫理原則 生命倫理の4原則 看護実践における倫理原則 ・Jonsenの4分割法 ・清水の臨床倫理検討シート ・看護倫理のための意思決定の10のステップ等 2.検討ツール・枠組みを用いた倫理的問題の検討方法 1)情報の整理 2)情報の事実を確認と共有 3)対立する倫理原則の明確化と問題の同定 4)倫理的価値の対立を分析 5)優先される解決策の決定	【方法】 講義 (色々なツールを紹介する程度) 演習 (自施設で使用している分析ツールを用いて事例検討する) ①模擬事例を基に演習 ②自部署の事例を基に演習	【教育内容】 1.自己理解 1)自己理解とは 2)自己理解の必要性 3)自己理解の方法 4)自己理解を深める 2.リフレクション 1)リフレクションとは 2)リフレクションの必要性 3)リフレクションの方法 3.自身が体験した倫理的問題事例におけるリフレクション	【方法】 講義 演習（グループワーク） 講義 演習（グループ・リフレクション） ※自身が体験した倫理的問題事例	【教育内容】 1.倫理的問題へのアプローチに必要なスキル 1)アサーション 2)ファシリテーション 2.倫理的問題へのチームアプローチ 1)倫理的問題へのチームアプローチの必要性 2)効果的なカンファレンス 3)カンファレンスにおけるファシリテーターの役割 4)チームアプローチにおける合意形成 3.臨床倫理に関する専門家・専門チームとの協働コンサルテーション 1)臨床における倫理に関する専門家・専門チームの機能 2)コンサルテーションとは 3)コンサルティの役割 4. 自部署における倫理的問題事例への対応の振り返り

【参考文献】
 社団法人日本看護協会：臨床倫理委員会設置とその活用に関する指針，2006.
 社団法人日本看護協会：平成15年版看護白書，2003年
 日本臨床倫理学会：臨床倫理認定士養成研修基礎編カリキュラム square.umin.ac.jp/jethics/adviser.htm

市川幾恵：組織マネジメントにより倫理的視点の強化を目指す，看護管理，27(5)，366-370，2017.
 青柳優子：医療従事者の倫理的感受性の概念分析，日本看護科学会誌，36，27-33，2016.
 白浜雅司：医療職をめざす学生の倫理的感受性をいかに育てるか，看護教育，41(4)，260-266，2000.